

※本プログラムの一部を紹介しています。

茨城県の教職員の方は、教育情報ネットワークの
教材データベースから、全プログラムをダウンロード
することができます。

情報モラル指導プログラム

～考え方・感じよう情報モラル～



★初めにこちらをご覧ください。

下の一覧表から、必要な資料の「○」印をクリックしてください。
クリックした資料が開きます。

《授業実践資料》

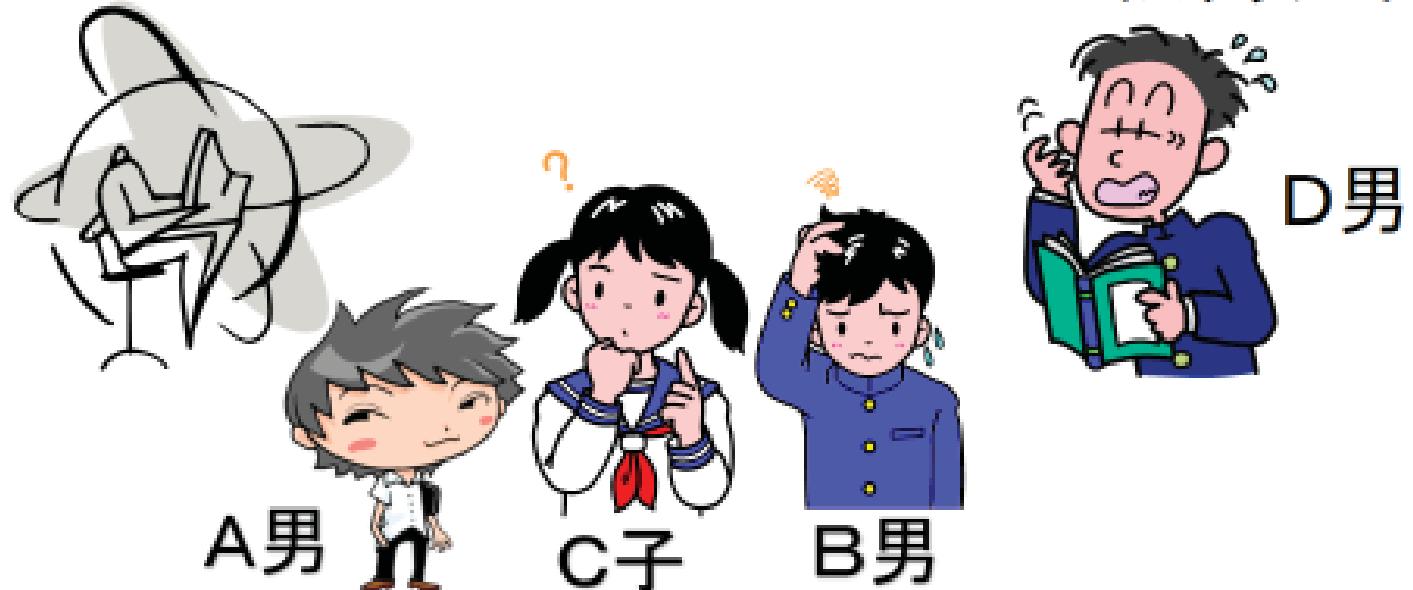
ステップ	主　題	学習指導案	教材	学習シート	板書計画	チェックシート	教材活用の手引
ステップ1	考え方・感じようケータイとの付き合い方	<input type="radio"/>					
ステップ2	考え方・感じよう文字によるコミュニケーション	<input type="radio"/>					
ステップ3	考え方・感じよう情報発信の落とし穴	<input type="radio"/>					
ステップ4	考え方・感じよう情報活用の落とし穴	<input type="radio"/>					
ステップ5	考え方・感じよう情報社会を生きること	<input type="radio"/>					
ステップ6	考え方・伝えよう情報社会での生き方	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
ステップ7	考え方・深めよう情報社会を生きること	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

《計画資料》

No	資料名	リンク
1	情報モラルの学習全体計画	<input type="radio"/>
2	総合的な学習の時間全体計画	<input type="radio"/>
3	第2学年総合的な学習の時間年間指導計画	<input type="radio"/>
4	第2学年情報モラルの学習年間指導計画	<input type="radio"/>
5	情報モラルの学習指導計画	<input type="radio"/>
☆	元データ	<input type="radio"/>

考え方・感じよう情報モラル！

—考え方・感じよう〇〇によるコミュニケーション—
<ステップ2>



情報社会に生きるために…

もしも自分だったら…
さあ、どうする？



次の場面の問題点(課題)を見つけてみよう！

スライド1「学習内容の見通し」

- ①「前回は、ケータイとの付き合い方を学習課題として、自分のネット利用を振り返り、今後の活用の仕方を考えました。そして、情報モラルの必要性や重要性を認識しました。」
- ②「今日は〇〇によるコミュニケーション」が学習課題です。〇〇に入る言葉を意識しながら、事例を見ていきましょう。」と言いながらスライド2を表示させる。



スライド2「キーワードの確認」

- ①「今から事例を見ていきますが、常にモアイも自分だったらどうするかと考えながら学習を進めてください。」
- ②「併せて、事例の問題点も見つけてください。」と言いながらスライド3を表示させる。



<事例1の背景>

A男, B男, C子, D男は、幼稚園の頃からの幼なじみ。

中学2年生になって、SNSを利用して、毎日4人でコミュニケーションをとっている。

今日も部活を終え、それぞれが帰宅した。そしていつも通り、コミュニケーションが始まろうとしていた。

明日までの宿題終わらないよ…。明日の朝は、ボランティアの落ち葉掃きがあるし…。7:00までに登校しなくっちゃいけないんだよなあ…。どうしよう…。

みんなとのSNSもやらないとみんなに悪いしなあ…。どうしよう…。やっぱり、今夜は、みんなには悪いけど、SNSをパスして宿題終わらせなくっちゃ…。



スライド3「事例の背景Ⅰ」

①「今日の事例の背景です。」

「皆さんもSNSなどでコミュニケーションをとっている人は多いですよね。」

※SNSについて軽く触れ、日常生活との関連を図るとよい。

②「では、この後の展開を見てみましょう。」と言いつながらスライド4を表示させる。



スライド4「事例の背景Ⅱ」

①「朝の落ち葉掃き、皆さんの中にも毎朝頑張ってくれていた人もいますね。」

「皆さんも下校後は宿題や家庭学習があり、いろいろ忙しいのかな？」と言いつながらスライド5を表示させる。



※常に日常生活の自分を振り返せるようにするとよい。

その夜…



スライド5「事例の背景Ⅲ」

- ①「今日のSNSには、D男が参加していませんね。」など、軽くつぶやく程度にする。
※生徒から、「LINE外し」のつぶやきが出たときは、「LINE外しへ何？」と、軽く触れておくと今後の展開に効果的である。
- ②全員が読み終わったことを確認する。
ここまでの中は理解できましたか？」
※質問があれば、簡潔に答える。
- ③「ではここで、このストーリーのこの後の展開を考えてみましょう。」と言いながらスライド6を表示させる。

学習シートに書いてみましょう。
・短い文でもOKです！
・思ったことを自由に書いてみましょう。

○

スライド6「この後の展開予想Ⅰ」

- ①「ここでは、その後のD男と他の3人の関係がどうなっていくかを中心に考えてみよう。」
※机間指導をしながら、進行状況を確認する。
- ②「今後の展開が想像できたところで、もしもあなたが、D男だったら、次の日の朝は何を言ったか想像してみましょう。」と言いながら、スライド7を表示させる。



次の日…

D男は、7:45に登校してきた…。
そして3人に…



D男

何と言ったか想像して
みましょう。

学習シートに、D男が自分だったらなんと言うか
などを考えて書いてみましょう。



3人は、何と言ったでしょう。想像してみよう。

学習シートに、もし自分が3人の立場だったら何というかを考えて、思ったことを書い
てみましょう。



A男

C子

B男

スライド7「この後の展開予想Ⅱ」

- ①「D男の立場になれましたか？D男のような経験はありませんか？」
※自分の経験を振り返らせ、関連付けさせる。
※机間指導をしながら、進行状況を確認する。
※自分の言葉で書いてよいことを助言する。
- ②「では次に、他の3人の立場になって考えてみましょう。」と言いながらスライド8を表示させる。

スライド8「この後の展開予想Ⅲ」

- ①「それでは、D男の言葉に対して、もしあなたが他の3人の中の一人だったら、何と言うか想像してみましょう。」
※机間指導をしながら、進行状況を確認する。
※スライド7・8では、「自分だったら」が重要です。他の人と相談させたり、正しい答えを求めたりする必要はありません。
※自分の言葉で書いてよいことを確認する。
- ②「それではここで、実際のストーリーの展開を見てみましょう。」と言いながらスライド9を表示させる。

この事例実は…

D男は、7:45に登校してきた…。
そして3人に…



おはよう！今朝はありがとう。ボランティア外してくれたから、何とか宿題が終わったよ。

D男

C子：SNSに参加して来なかつたから、きっと何かあるだろうと思ってたわ。
B男：絶対に宿題終わってないんだと思ってボランティア外してやつたよ！
A男：明日は、ちゃんとボランティア来いよ！
倍返しだからな！！



スライド9「事例の展開Ⅰ」

- ①「皆さんの想像と比べてどうですか？」
「違った人は、どうして違ったのかを考えてみてください。」
- ②「このD男の言葉に対して、他の3人は次のように言ったようです。」と言しながらスライド10を表示させる。



スライド10「事例の展開Ⅱ」

- ①「皆さんの想像と比べてどうですか？想像と違っていた人が多いようですが、どうして違った想像になってしまったのか、その原因を探ってみましょう。」
※この地点で、「外す」の意味の誤解からずれが出たことに気付いていきます。
- ②「この事例では、「外す」をどのような気持ちで使っていたのでしょうか。」などと問い合わせ、この後の展開につなげていく。
- ③「今日の学習課題が見えてきましたか？では、学習課題を考えてみましょう。」

今日の学習課題は 何だろう？〇〇〇〇は？



スライド11「今日の学習課題」

- ①「今日の事例の内容は理解できましたか？」
「皆さんの生活の中でも似たようなことを経験したことはありませんか？」
- ②「ではここで、今日の学習課題〇〇によるコミュニケーションについて捉えておきましょう。」「〇〇に当てはまる言葉は何と思いますか？」
「そうですね。今日の課題は文字によるコミュニケーションです。」
- ③「皆さんも文字を使ったコミュニケーションの経験はありますね。」「では、事例の続きです。」

スライド12「事例の問題点」

- ①「今日の本題です。皆さんの考えを学習シートに入力してください。」「入力のやり方が分からぬときは質問してください。」
※机間指導をしながら、入力状況と内容を確認する。
※自分の言葉で、また、箇条書きでもよいことを伝える。
- ②全員の入力後に「では次のスライドです。」
と言いながらスライド13を表示させる。

いろいろな問題が見えてきましたね。自分の日常生活での経験を振り返ってみるのもいいですね。気が付いたことを学習シートに何でも書いてみましょう。

○



もしも自分だったら… さあ、どうする？

気付いた問題点や自分だったらどうすると思う？また、どうしたらいいでしょうか。学習シートに自由に書いてみましょう。



いろいろな立場
で考えてね。



グループのみんなの意見を 聞いてみよう！

【問題点】

自分が気づいた問題点と比べて、違う見方や新たな気づきがあったら学習シートに書いてみましょう！＊色を変えて書けるといいですね。



【自分だったら】

自分と反対の考え方や違った考え方を参考に、自分の考えを学習シートに書いてみましょう。



スライド13「問題への対応」

①「この事例では、大きく2通りの立場がありましたね。それぞれの立場が、もし自分がだったらどうするかを今までの経験などから考えてみましょう。」

※机間指導をしながら、入力状況と内容を確認する。

②全員の入力後に「では次のスライドです。」
と言いながらスライド14を表示させる。

スライド14「意見交流と判断の練り上げ」

①「自分の考えや判断がまとったら、グループで比べてみましょう。」

※誰の考え方や判断が正しいかを比べるのでなく、いろいろな考え方や判断があることを知ることが目的であることを助言する。

②「違った考え方や判断は、参考になると思います。
学習シートに入力しておきましょう。」

※机間指導をしながら、比較の状況を確認する。

③全員の入力後に「では次のスライドです。」
と言いながらスライド15を表示させる。

今日の事例全体を通して、考えたことや思ったことを自由に書いてみよう。

「こんなところがよかった。」「こんなふうに考えさせられた。」「どうして〇〇何だろう。」など、文字によるコミュニケーションについて思ったことを学習シートに自由に書いてみましょう！



今日の学習を通して、望ましい情報社会に生きるために、あなたは何を考え・感じましたか？自由に書いてみよう。

みんなが生きている情報社会。よりよい情報社会にするにはどうしたらしいでしょう？また、よりよい情報社会ってどんな社会でしょう？学習シートに思ったことを書いてみましょう。



スライド15「文字によるコミュニケーション」

- ①「それでは、今日の学習を通して考えたことや思ったことを自由に入力しておきましょう。」
- ②「このような事例の場合の自分の考え方や判断がしっかりと入力できるといいですね。」
※机間指導をしながら、入力状況と内容を確認する。
- ③全員の入力後に「では次のスライドです。」
と言いながらスライド16を表示させる。

スライド16「学習のまとめⅠ」

- ①「それでは、今日の学習のまとめです。」「今日までの学習を通して、みんなが生きている情報社会についての考え方をまとめてみましょう。」
※机間指導をしながら、入力状況と内容を確認する。
- ②全員の入力後に「では次のスライドです。」
と言いながらスライド17を表示させる。

これから何名かの人に、自分の考えたことや感じたことを発表してもらいます。聞く人は、自分の考え方や感じ方と比べながら聞いてくださいね。

新しい発見があるかも…だね。

さて、みなさん自分の考え方をもてたかな？

では、今日の発表者は…



考え方・感じよう情報モラル！

一考え方・感じよう〇〇〇〇の落とし穴一

<ステップ3>



スライド17「学習のまとめⅡ」

①「では、今日の学習について発表してみたい人はいませんか？」

※発表意欲のある生徒から2名程度

※発表者の学習シート画面を全生徒の画面上に転送する。

②発表希望者がいない場合は…

「それでは、画面上に学習シートが表示された人は発表してください。」※画面表示する
※生徒の発表内容を含め授業をまとめる。

- ・文字=誤解を生じる恐れがある
- ・伝える内容によって手段を判断する
- ・日常生活でも各立場で考えて利用する

スライド18「次時の授業について」

①「次回の情報モラルの学習は…」と言しながらスライド18を表示させる。

※〇〇に当てはまる語句を考えさせ、次時までの関心意欲を持続させる。